

児童文学作家 あさのあつこ

学校図書館は“学校”という空間の中で異質な輝きを放っています。

教える・学ぶ・教えられるという関係から逸脱した存在なのです。だから必要です。子どもたちは多様、多彩な世界を求めています。

子どもたちのために充実した図書館は必要なのです。